

世界最先端の研究に触れて

工学府機械知能工学専攻D3 柏木 誠



はじめに

7月13日から16日にかけて、米国カリフォルニア州サンタ・クルーズにおいて、JSPSとNSFの助成による第8回US-Japan Joint Seminar on Nanoscale Transport Phenomenaが開催されました。この会議は、マイクロ・ナノスケールにおける熱輸送に関する研究を行っている日米の研究者が一堂に会する会議です。

国際会議に参加して

この会議には、Nature&Scienceを始めとするインパクトファクター

の高い論文に投稿している研究者が多く参加していたため、非常に高度でユニークな研究が多数報告されており、非常に刺激的でした。私は、ポスターセッションで参加し、『金コーティング微粒子配列構造による波長選択的熱ふく射制御』というタイトルで研究成果を報告してきました。今回の発表では、世界の最先端を走る研究者の方々から、実にさまざまなアドバイスをコメントをいただくことができ、今後、研究を進める上での重要なヒントを掴むことができました。

この会議に参加して感じたのは、世界の研究や研究者と触れることの重要性でした。日本は先進国であり、科学技術立国を標榜していることから、教育や研究のレベルは非常に高いものです。しかしながら、やはり世界は広く、より高いレベルの教育研究を行う機関は数多くあります。今回のような世界の最先端の研究者

が参加する会議へ出席することで、自分の研究の世界における位置づけや他研究の進捗等、自分が研究を進めていく上で、非常に重要かつ有用な情報を得ることができました。最先端研究から感じたことは、研究内容が非常に高度なものであるのはもちろんのこと、独創的である点です。それらの研究内容を知ることができ、新たな視点や観点を得ることができ、自分の研究においても役に立つものと思います。このように、国際会議へ出席するということは、自分の研究を世界の研究者に知ってもらうだけでなく、世界最先端の研究を知り、自分の研究を高めていくという意味で非常に重要なことであるということとを、改めて認識することができました。

カリフォルニア周遊

今回の会議はカリフォルニア州のサンタ・クルーズで開催されました。サンタ・クルーズは非常にのどかな田舎町ですが、多くのワイナリーを有する町です。今回の会議日程では、ワイナリーの見学も含まれていました。私自身はワインについての知識



ワイナリーにて

は持っていませんが、試飲させていただきます。ワインは非常に飲みやすく、美味しいものでした。

会議日程が終了した後は、サンフランシスコへ移動し、ゴールデンゲートブリッジやピア39などの定番の観光地を巡りました。私自身は兵庫県の神戸に近い街で育ちましたが、神戸もサンフランシスコも港町であり、非常に似た雰囲気を感じました。特にどちらも坂の町である点が非常に印象的であり、その坂の上からの眺望は非常に素晴らしいもので、会議の最後に良い思い出ができました。最後に、国際会議参加にあたり、奨学金を援助いただきました明専会に厚く御礼申し上げます。